

はじめに

「認知症になっても住み慣れた地域で暮らすために～認知症ケアパスガイド～」は、認知症の人とその家族が住み慣れた長岡京市で安心して暮らし続けられるよう、利用できる支援やサービスをまとめたものです。この冊子では「認知症とはどのような病気なのか、どのような症状があるか」「相談窓口や利用できる支援・サービス」等を掲載しています。病気になるとだれもが、ときに不安な気持ちを抱いたり、ときに不自由さを感じたりします。認知症状の進行によって出てくる可能性のある困りごとや必要なケアを知り、利用できる支援やサービスについての情報をあらかじめ持つておくことで、先の見通しをもって生活することができます。また、このケアパスを通じてご自身やご家族がどのような暮らしを望み、生活の中でどのような支援を選択するか話し合うきっかけにしていいただければと思います。

令和4年4月

もくじ

① はじめに・もくじ	1 ページ
② 認知症 つながり 支え合うまち 長岡京	2 ページ
③ 認知症ってなに？	3 ページ
④ 認知症の種類ってどんなものがあるの？ 認知症になると、本人はどのように感じるの？	4 ページ
⑤ 認知症の症状	5 ページ
⑥ もの忘れが気になり始めたら(チェックリスト)	6 ページ
⑦ 認知症かな？と思ったら	7 ページ
⑧ 若年性認知症について	8～9 ページ
⑨ サービスや支援の早見表	10 ページ
⑩ 認知症の方への接し方～本人の困りごと編～	11～12 ページ
⑪ 認知症の方への接し方～家族・周囲の困りごと編～	13～15 ページ
⑫ 相談したい	16～17 ページ
⑬ 医療機関を探したい	18 ページ
⑭ 地域で見守られて暮らしたい	19 ページ
⑮ 人との交流を楽しみたい	20～22 ページ
⑯ 権利を守り、お金や財産の不安を解消したい	23 ページ
⑰ 自宅での暮らしを続けるために(配食サービス・緊急・相談通報装置など) (長岡京市おでかけあんしん見守り事業)	24 ページ 25～26 ページ
⑱ 介護保険などのサービス	27 ページ
⑲ 相談窓口(裏表紙)	28 ページ